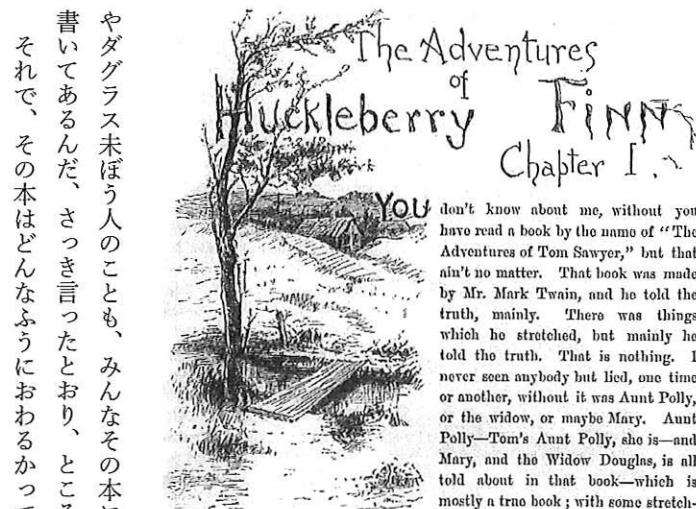


にかくしたカネを見つけて、おれたちはカネもちになつた。それぞれ六千ドルずつ、ぜんぶ金かで。つみあげたらすごいながめだつた。で、サッチャーリー判じがそいつをあずかつて、利しがつくようにしてくれて、おれもトムも、一年じゅう毎日まいにち一ドルずつもらえることになつた。そんな大金、どうしたらいいかわからんないよな。それで、ダグラス未ぼう人が、おれをむすこととしてひきとつて、きちんとしつけてやるとか言いだした。だけど、いつもいつも家のなかにいるつてのは、しんどいのなんのつて、なにしろ未ぼう人ときたら、なにをやるにも、すごくきちんとして上ひんなんだ。それでおれはもうガマンできなくなつて、逃げだした。またまえのボロ着を着てサトウだるにもどつて、のんびり気ままにくつろいでた。ところが、トム・ソーサーがおれをさがしにきて、盗ぞく団をはじめるんだ、未ぼう人のところへかえつてちゃんとくらしたらおまえも入れてやるぞつて言われた。で、おれはかえつたわけで。

未ぼう人はおれを見てわあわあ泣いて、おれのことをアワレなサマヨエのコヒツジだのなんだのさんざんくさしたけど、べつにわるぎはなかつたんだとおもう。で、またあたらしい服を着せられてアセがだらだらだらだら出てきてすごくきゅうくつだつた。そうやつてまたおなじことがはじまつた。未ぼう人が夕ごはんのスズを鳴らしたら、さつさと行かなくちゃいけない。テーブルに来てすぐ食つちやいけなくて、未ぼう人がアタマたらして食べもの見おろしてなんかブツブツ言うのを待たないといけない。といつてべつだん食べものにわるいところがあるわけじゃない。まあなにもかもべつべつに、ようりしてあるのはわるいっていわるいけど。あれこれゴツチャになつたたるだとそうじやない。いろんなものがあつまつて、汁がこう、まじりあつて、あじもよくなるんだ。



未亡人の家

「トム・ソーサーの冒けん」でゆう本をよんでもない人はおれのこと知らないわけだけど、それはべつにかまわない。あれはマーク・トウェインさんがつくる人がつくった本で、まあだいたいはホントのことが書いてある。ところどころこちようしたことがあるけど、だいたいはホントのことが書いてある。べつにそれくらいなんでもない。だれだつてどこかで、一どや二どはウソつくものだから。まあボリーおばさんとか未ぼう人とか、それとメアリなんかはべつかもしれないけど。ボリーおばさん、つまりトムのボリーおばさん、あとメアリ

「トム・ソーサーの冒けん」でゆう本をよんでもない人はおれのこと知らないわけだけど、それはべつにかまわない。あれはマーク・トウェインさんがつくる人がつくった本で、まあだいたいはホントのことが書いてある。ところどころこちようしたことがあるけど、だいたいはホントのことが書いてある。べつにそれくらいなんでもない。だれだつてどこかで、一どや二どはウソつくものだから。まあボリーおばさんとか未ぼう人とか、それとメアリなんかはべつかもしれないけど。ボリーおばさん、つまりトムのボリーおばさん、あとメアリ

「トム・ソーサーの冒けん」でゆう本をよんでもない人はおれのこと知らないわけだけど、それはべつにかまわない。あれはマーク・トウェインさんがつくる人がつくった本で、まあだいたいはホントのことが書いてある。ところどころこちようしたことがあるけど、だいたいはホントのことが書いてある。べつにそれくらいなんでもない。だれだつてどこかで、一どや二どはウソつくものだから。まあボリーおばさんとか未ぼう人とか、それとメアリなんかはべつかもしれないけど。ボリーおばさん、つまりトムのボリーおばさん、あとメアリ